





	○	障害者への差別解消	障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消に向けた取り組みを、具体的事例をあげて皆で考えていきます。 出講可能日：要相談 対象：高等学校 授業時間・回数：45分～60分、1回 必要な機材：プロジェクター、スクリーン 場所：本学・相手校	人間関係学部 人間関係学科 手嶋 雅史
	○	障害のある人の安心した暮らしと法制度	障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、安心できる暮らしにつながる取り組みを、法制度の歴史からとらえていきます。 出講可能日：要相談 対象：高等学校 授業時間・回数：45分～60分、1回 必要な機材：プロジェクター、スクリーン 場所：本学・相手校	人間関係学部 人間関係学科 手嶋 雅史
	○	子どもの人間関係とその支援	文部科学省による調査結果や近年の先行研究の成果などから主にしじめや不登校の現状を説明した上で、学校における子どもの人間関係の特徴やその課題を考えます。また学校外の子どもの居場所づくりや教育の実践の例をとりあげ、子どもの人間関係を支える社会や教育のあり方について考えていきます。 出講可能日：要相談 場所：本学・相手校 対象：高校生 必要な機材：プロジェクター	人間関係学部 人間関係学科 佐川 佳之
	○	教育と社会の視点から不登校を考える	不登校の現状を確認した上で、グループに分かれ、新聞記事を用いたワークをしながら教育と社会の視点から不登校について議論します。そこからどのように不登校に向き合うことができるのかを考えていきます。 出講可能日：要相談 場所：本学・相手校 対象：高校生 必要な機材：プロジェクター、模造紙、付箋、ペン	人間関係学部 人間関係学科 佐川 佳之
	○	「ディベート」入門	ジェンダー、フェミニズム問題など今日の課題についてディベートしましょう。可能日:要相談 場所:本学、相手校どちらでも可 対象:中学生、高校生 必要な機材:プロジェクター使用 環境が整っている方が望ましい。	人間関係学部 人間関係学科 吉田 あけみ
	○	男女共同参画について考えよう	未来に向かって自分らしく生きるために男女共同参画について考えよう。可能日:要相談 場所:本学、相手校どちらでも可 対象:中学生、高校生 必要な機材:プロジェクター使用 環境が整っている方が望ましい。	人間関係学部 人間関係学科 吉田 あけみ
	○	高齢者のくらしと福祉	高齢者とはどのような人なのか、どのような暮らしをしているのか、暮らしの中でどのようなことに困っているのか、困っていることに対してどのような福祉サービスによる支援があるのか。これらについて説明します。 出講可能日：要相談 必要な機材：プロジェクター	人間関係学部 人間関係学科 株本 千鶴
	○	在日外国人の生活問題ー多国籍化に対応する福祉とは？	日本で生活する外国人のひととはどのような生活問題を抱えているのか、多国籍化が進む日本社会で社会福祉はどのように対応しようとしているのか、これらについて説明します。 出講可能日：要相談 必要な機材：プロジェクター	人間関係学部 人間関係学科 株本 千鶴
	○	「外国につながる子ども」の教育課題からDEI (Diversity, Equity and Inclusion) を考えてみよう	国際的なもの=英語・留学といったイメージは依然強いと言えます。本出張講義では、日本の多民族・多文化化の歴史や現状をわかりやすく説明します。また、学校という場で外国につながる子どもたちが直面する教育課題についても最新の知見を紹介し、その解決策について一緒に考えてみます。 出講可能日：要相談 授業時間(60分程度) (要望に応じて45分、または90分にも調整可能) 必要な機材：プロジェクター、スクリーン 場所：高校または本学	人間関係学部 人間関係学科 金野 咲季
	○	スポーツにおける多様なあり方を考えよう	スポーツは男女に分けて実施される場合が多く、特に競技スポーツではそれが当たり前になされています。当たり前を実施される性別二元論に基づくスポーツのあり方は、どのような問題や課題を生み出しているのでしょうか。それらを考えながら、改めて男女で分けるスポーツのあり方を考えてみましょう。 出講可能日：要相談 必要な機材：プロジェクター	人間関係学部 人間関係学科 大勝 志津穂
	○	テキスト分析入門	この講義では、小説の読解を通じてジェンダーやセクシュアリティの問題を考えます。「ホセ・サルバドール」という概念を学んだ上で、実際に短編小説を読み、どのようにホセ・サルバドールが描かれていて、そこでのようなジェンダー/セクシュアリティに関する問題が生じるのか/見えにくくされているのかを、グループでのディスカッションを通じて考えます。最終的に各グループの「読み」を発表し、全体でジェンダー/セクシュアリティの問題について議論します。 出講可能日：要相談 授業時間：90分 人数：約30人 必要な機材：プロジェクター、スクリーン 場所：高校 (本学でも)	人間関係学部 人間関係学科 大龍之介
	○	福祉ってなんだろう？ 一冊読んでみる人は誰か	福祉や社会福祉のイメージって何でしょう？ 介護や貧困だけでなく「福祉」の広さと身近さについて、普段の暮らしのなかからとも考えます。さらには、家族や友人としてできる支援から、専門家としての支援まで、ソーシャルワークの奥行きについて学びます。 出講可能日：要相談 授業時間：45～90分 必要な機材：プロジェクター、スクリーン 対象：中学、高校生 場所：本学、相手校	人間関係学部 人間関係学科 森川 和珠
	○	グリーフケア 大切なものを失う悲しみとは	グリーフとは「大切なものを失う悲しみ」や喪失にともなう様々な感情やプロセスを指します。子どもから大人まで、大切なものは人それぞれ。それを失った時の感情やプロセスもまた人それぞれです。多様な価値観を認め合い分かち合うことから「ともに生きる」ために支え合うためのあり方について学びます。 出講可能日：要相談 授業時間：45～90分 必要な機材：プロジェクター、スクリーン 対象：高校生 場所：本学、相手校	人間関係学部 人間関係学科 森川 和珠
	○	認知症ってなんだろう？ご本人と家族の気持ち	超高齢社会の日本では、認知症は社会全体の課題です。家族や親せきには認知症のご本人がいらっしゃる場合も今後ますます増加します。認知症のご本人や家族の気持ちを知ることで、認知症の正しい理解につながるきっかけを目指します。	人間関係学部 心理学科 鈴木 亮子
	○	カウンセリング入門ー言葉のやりとりと言葉によらないやりとりー	カウンセリングにおいては、言語的コミュニケーション(素顔や身振りなど)の両方が行われています。誰かが言葉で悩みを語るわけではなく、言葉はいっつも本心を伝えるとも限りません。本講義では、カウンセリングにおける言葉の奥にある意味の理解やカウンセラーの対応について説明します。 出講可能日：水曜日 必要な機材：プロジェクター、スクリーン	人間関係学部 心理学科 李 敏子
	○	商を考える一人の個別からコミュニケーションまで	目の前にいる人が誰なのかを判断するためには商を確認する人が多いでしょう。また、その人が何を求めているのかを判断する際にも、商像や表情を見るために商を確認する人が多いのではないのでしょうか？このように、商には様々な情報が含まれています。この授業では、私たちにとても重要な「商」について心理学の視点から考えていきます。 必要な機材：プロジェクターまたはホワイトボード	人間関係学部 心理学科 布井 雅人
	○	見えているのに気づけない？～注意に関する心理学～	探し物が目の前にあるのに、気づかないという経験ありませんか？実は、「見えていること」と「気づいていること」は別です。その間には注意という認知機能の存在があります。この授業では、見えているのに気づけないという体験を通じ、注意の重要性についてお話しします。 必要な機材：プロジェクターまたはホワイトボード	人間関係学部 心理学科 布井 雅人
	○	こんなことも心理学の研究に!?—人間の心を扱う心理学—	心理学はこんなような身近な存在が研究対象です。そのため、日常生活の中ちょっとした疑問が、そのまま心理学の研究になるという面白さがあります。この授業では、実際に学生が授業や卒業などで行った心理学研究を紹介します。心理学の関心の広さを体験してもらえます。 必要な機材：プロジェクターまたはホワイトボード	人間関係学部 心理学科 布井 雅人
	○	もっと知りた私の心理 (性格心理学入門)	自分の個性についてどのように捉えていますか。簡単なチェックリストを使って自己分析を行ってみよう。分析作業を行いなから、回答を数値で表す方法についても体験してみよう。	人間関係学部 心理学科 中西 由里
	○	「うわさ」はどう広がられるか？	「うわさ」が誰から誰へどのように伝わるのかをその内容がどのように伝わりやすいかを簡単な実験を行って体験してみよう。体験後、口伝で情報がいかにか変容していくのかについて解説を行います。体験学習を行う際に、受講生の人数として40名程度以上を希望します。参加人数が少ない場合は体験学習(実験)を行うことができません。	人間関係学部 心理学科 中西 由里
	○	ストレス こんなんさどうする？	私は何種類かのことについて悩んだり、考えたりしています。ストレスはなぜ起きるのでしょうか。うまくつきあっている人はいませんか。この講義では、講師が作成したテキストを用いて楽しく学んでいきます。	人間関係学部 心理学科 刈田 亮太
	○	アサーション こんなんさどうする？	自分と相手と大事にする表現とは何でしょうか？この授業では、「アサーション、こんなんさどうする？」を使って、みなさんと楽しく考えていきたいと思います。	人間関係学部 心理学科 刈田 亮太
	○	このころが優つた人に出会えるときのガイドブック	この授業では、「このころが優つた人に出会えるときのガイドブック(高校生版)」を使って、みなさんと楽しく考えていきたいと思います。	人間関係学部 心理学科 刈田 亮太
	○	「サイコセラピー」ってなんだ？	「カウンセリング」「セラピー」「サイコセラピー」と呼ばれるものは、いったい何でしょうか？特異なもの、神秘的なもの、面白いものなどのイメージを持たれがちな「サイコセラピー」ですが、実は人間の最も基本的な行動パターンを構築させたものに過ぎません。そのような「サイコセラピー」について、自分の経験と結びつけて実感を持って理解できるようにすることを目標とします。	人間関係学部 心理学科 浅野 元志
	○	コミュニケーションの不思議	ことを話してもうまく伝わらない場合、表情や行為で伝わる場合などの例を挙げながら、コミュニケーションの不思議な世界を覗いてみましょう。子どもの発達にコミュニケーションが果たす役割についても考えてみましょう。 出講可能日：水曜日・金曜日 回数：1日 100分～90分 場所：本学、相手校どちらでも可 対象：高校生 必要な機材：プロジェクター、スクリーン	人間関係学部 心理学科 西出 弓枝
	○	子どもの個性を活かす心理学	幼稚園や保育園、小学校では豊かな個性を伸ばしている子どもたちが生活しています。そこで、子どもたちのさまざまな感じ方、考え方を育むこととなる心理的特徴を知り、それを活かした支援をするということについて考えてみましょう。 出講可能日：水曜日・金曜日 回数：1日 100分～90分 場所：本学、相手校どちらでも可 対象：高校生 必要な機材：プロジェクター、スクリーン	人間関係学部 心理学科 西出 弓枝
	○	私とあなたの心理的距離	人間関係の基本は「あの人が近づいてほしい」「あの人が近づいてほしくない」という「心理的距離」の問題といえます。ではその心理的距離はどのように経験され、どう表現すればいいのでしょうか。理論的に説明するため用語は難しいですが、日常経験の基盤で内容は理解しやすくなります。	人間関係学部 心理学科 山根 一郎
	○	きょうだいという人間関係	あなたはお姉さん、お兄さんですか？妹？弟？それとも、ひとりっ子ですか？「きょうだい」という生まれながら初めて経験する人間関係の中で、子ども達の性格がどのように形作られているのかを発達心理学の視点から解説します。 出講可能日：金曜日 必要な機材：プロジェクター、スクリーン	人間関係学部 心理学科 山口 雅史
	○	「分人」という新たな人間観	「分人」とは、「個人」に変わる新たな人間の捉え方の単位として、近年注目されている概念です。明治期に輸入された「個人Individual」の概念が争い問題などどういふもので、私たち一人ひとりを「分人Individual」として捉えることにはどのような利点があるのか？「分って何？」「本当の自分とは？」といった内面への問いを指し示した高校生のみならずにも参考となる知見を提供できれば幸いです。出講可能日：都合がつけばいつでも可 必要な機材：PCおよびプロジェクタ	人間関係学部 心理学科 三浦 隆宏
	○	日常的な人間行動の理解	皆さんは身の回りの人の行動を不思議に思ったことはありませんか？電車の中や通行人、少し関心を持って見てみると、意外な発見があるかもしれません。この講義では、日常的な人間行動の理解を通して、フィールドワークの楽しみを経験するとともに、重要なデータを分析することで、人間行動の不思議に切り入ります。	人間関係学部 心理学科 五百部 裕
	○	このころの進化：カブトムシにころはあるか？	皆さんはこのころを持っているか？では犬はこのころはあるでしょうか？カブトムシは？私たちに固有だとされる特徴の多くは、進化によって獲得されたのです。そして、「このころ」もまた進化の産物なのです。この講義ではこのころは何か、そしてそのころがどのように進化してきたかを紹介します。	人間関係学部 心理学科 五百部 裕
	○	地球環境と人間	皆さんは、石油を原料とした石油系洗剤とヤシ油を原料とした天然系洗剤、どちらが「地球にやさしい」と思っていますか？一見、ヤシ油の方が「地球にやさしい」ように見えますが、ヤシ油を手に入れるために東南アジアなどの熱帯林がヤシの水を栽培するために伐採されているという現実があります。この講義では、私自身が直接関わってきた環境問題、その中でもとくに熱帯林の保全に関わる問題を取り上げ、その現状と課題、さらにはその問題点を紹介していきます。	人間関係学部 心理学科 五百部 裕



○	○	世界は貿易でつながっているー貿易ゲームで学びよう！	世界には約200か国あり、国々は貿易でつながっています。貿易が起こる理由や仕組みを体験型の教材「貿易ゲーム」により、楽しみながら学習します。	現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 水野 英雄
○	○	株式投資ゲームで学ぶ経済	株式投資のルールや仕組み、リスクとそれと備える考え方を、日本証券取引所グループの教材「ブルザ」を使用して、楽しく学習します。	現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 水野 英雄
○	○	お金について考えよう！	この授業では、皆さんにとって身近なお金について考えます。 お金の増える私たちの暮らしがどうなるのか、お金の価値がなくなるとどういったことが起こるのか、貨幣の本質とは一体何なのか、最近のデジタルイノベーションや仮想通貨の普及といった必要を促す問題テーマについて分り易くお話しします。また、最近の仮想通貨の気候変動に合わせた取り組みにもお話しさせていただきます。 今日、あなたはいくら消費税を負担しましたか？消費税は、これからの皆さんの暮らしを守るために使われています。日々の暮らしにしっかりと掛け込んでいる消費税ですが、その仕組みは意外に難しいのです。消費税について詳しく学びましょう。	現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 橋本 茂
○	○	消費税の役割について考えてみましょう！	消費税の役割について考えてみましょう！	現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 森山 直
○	○	会社の基本・会社の仕組みー法律の視点から	会社、特に株式会社について、法律の視点から理解できることを目指します。 会社は身近な存在であり、日々の生活の中でも、多くかわりがあります。将来、会社に就職することになれば、その人の生活にとって不可欠なものとなります。また、会社は経済社会の中で重要な存在といえます。 会社は法人であり、法律上「人」ですが、人間と異なる、目に見えない存在ではありません。そのような会社がどのように組織として活動することができるのか、そのためにはどのような義務が必要かを考える視座を得られるようにできればと思います。会社には多くの関係者がかわるため、それらの利害をどのように調整すべきかについても考え、法的なバランス感覚も養うことができるといえます。	現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 山本 莉成
	○	映画を通して国際社会を読み解けば	映画は時代を映す鏡の一つである。実際のところ、映画はその時代の政治、経済、社会状況などが色濃く反映している。当然、現実の国際社会の様子も映画に大きな影響を与えている。戦後争いのように国際問題との関係がわかりやすいものだけでなく、家族や恋愛をテーマにした映画の中でも、一見無関係のように見えながら、さまざまな国際問題とつながっているセリフやシーンが存在する。したがって、国際社会を理解すれば、より楽しく映画を観ることができると、一方、映画を観ることで、国際社会の理解が深まることになる。この講義を通じて、そのきっかけとしてほしい。	現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 山邊 亨
	○	ちょっと高度なアンケートの結果処理ー教えるだけでつまらないー	アンケート調査の結果をまとめる時に、〇がいくつ、×がいくつと言うレベルでは、せっかくのアンケートが活きます。複数の質問のあるアンケートであれば、その関係をアンケートの回答から調べることができます。例えば、男性と女性に大と小のどちらが好きか、と言うアンケートをして大好き男性、大好き女性、好き好き、嫌い嫌いなどと分けて数えると、性別による大と小の差が分かります。性別に問わず好き好きと答える方もいらっしゃいますが、)ただ単純に数が多いからと言うのは問題が生じる事があります。カッパルの奇々の大と小を求めたらA型の人が多いので、A型同士は相性が良い、とするのは危険です。日本人の場合A型の人が多いからと断言するのは危険です。この問題を解決するのが統計学の知識です。理論を理解するのは難しいですが、Excelを使って数え上げを簡単にし、その結果を統計的に処理する方法について紹介したいと思います。	現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 三木 邦弘
	○	みんなで働くことの意味ー経営組織論への招待ー	学生時代にはあまり考えることのない「組織」について、簡単なグループ作業（エクササイズ）をしながら、ゲーム感覚で楽しく体系的に学びます。 出講可能曜日：要相談、回数・日数：60-90分程度、場所：本学・相手校どちらでも可、対象：高校生、必要な機材：プロジェクター、スクリーン	現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 佐々木 圭吾
	○	これから日本の産業はどうなるか	時代ごとに各国の経済活動の相違は変わっていきます。比較優位や環境の経済的な動向とともに、日本やアメリカを中心とした具体的な産業構造の変遷と、それに伴う所得格差や国内の地域的格差の事例を紹介し、今後の見通しを解説します。 出講可能曜日：要相談 回数・日数：90分程度 場所：本学・相手校どちらでも可 対象：高校生 必要な機材：プロジェクター、スクリーン	現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 重田 達樹
	○	政府って必要？ー政府と社会との関係ー	「政府とは何か」について説明し、「政府が必要な理由」について個人レベルの合理性の限界という観点から説明します。	現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 高木 圭
	○	無敵和不思議	通常教養としてしまう無敵和を、オライオン収束しているものとして扱い、無敵和を計算することが成功した。そのプロセスの素晴らしさと結果の楽しさを説明する。	現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 吉本 明彦
	○	How can I improve my English? 英語を上達させるにはどうしたらいいですか？	英語学習がストレスになることはありません。達成可能な短期目標を設定すれば、語学学習者としてのモチベーションを維持できる可能性が高くなります。私のクラスでは、参加者中心のアクロビで、人々がより積極的に、自分の学習に対して前向きになれるようサポートします。	現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 スティーブン・クワン
	○	サステナビリティ、気候変動問題とこれからのビジネス	サステナビリティ、気候変動の問題が大きなテーマとなっています。これまでビジネス界はさまざまな対応をしていますが、新たなビジネスチャンスの可能性も広がっています。サステナビリティや気候変動問題の現状を概観するとともに、今後広がるビジネス・チャンスについて、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。 出講可能曜日：ご相談 回数・日数：60分程度 場所：対面の場合、本校・相手校どちらでも可 必要な機材：プロジェクター、スクリーン（オンラインの場合、オンライン対応のもの）	現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 藤澤 創
	○	身近な水の環境科学ー東海丘陵の湧水ー	東海地域の丘陵地帯には湧水が数多く存在しています。この湧水の水質形成過程についてお話しします。出講可能曜日：相談次第 回数・日数：1回60分 場所：本学が望ましい 対象：小学校高学年ー一般 必要な機材：PCからの画面を出力するプロジェクターがあることが望ましい	教育学部 子ども発達学科 野崎 健太郎
	○	子どもの遊びからとらえる発達特性	子どもの遊びの過程と大人の遊びの過程は違うのでしょうか。幼児の子どもの遊びの特性を年齢別にとらえてみましょう。 出講可能曜日：調整 時間：50分程度 場所：高校あるいは本学 対象：高校生	教育学部 子ども発達学科 朴 信永
	○	コミュニケーション力を育てる授業ミュージカル	小学校での修養会を子どもを中心に紹介し、製作から発表までの過程での実践者の行動や反省点をふまえて、実践可能な方法を提示します。	教育学部 子ども発達学科 渡邊 康
	○	九九表のヒミツ	小学校で習った九九表を思い出してみよう。これまで気づけなかった秘宝を見つめます。身近な算数の中に隠れている高度な数学の内容を紹介し、 出講可能曜日：相談次第 回数・日数：1回60-90分 場所：本学、相手校どちらでも可 対象：中学生・高校生 必要な機材：PCからの画面を出力するプロジェクターがあることが望ましい	教育学部 子ども発達学科 竹内 聖彦
	○	あみだくじで遊ぼう	あみだくじをご存知ですか。身近な遊びに隠れている高度な数学の内容を紹介し、 出講可能曜日：相談次第 回数・日数：1回60-90分 場所：本学、相手校どちらでも可 対象：中学生・高校生 必要な機材：PCからの画面を出力するプロジェクターがあることが望ましい	教育学部 子ども発達学科 竹内 聖彦
	○	声の出るしくみー歌声を見える化してみようー	声の出るしくみを学び、これまで「耳」で聞いて判断してきた「良い声」「悪い声」などの歌声を数値化し、客観的に判断できるよう、歌声の「可視化」を試みます。 一人の歌声の歌声が、10人が集まるオーケストラの音を超えてホールに響くのはなぜでしょうか？ 自分の「歌声」をリアルタイムで見ながら、声帯に無理のからない声の出し方を探索してみませんか？ 出講可能曜日：木曜日（前期）、要相談（後期） 場所：ピアノ、プロジェクター、スクリーン等のある教室またはホール 対象：高校生ー一般社会人	教育学部 子ども発達学科 池田 京子
	○	どんなことをしている？子どものための心理治療施設	福祉現場の紹介講義です。この講義で取り上げるのは、「児童心理治療施設」です。児童心理治療施設は、様々な事情から家庭で生活することができない子どもたちが生活する場所です。そこで働くケアワーカーと呼ばれる人たちの仕事に迫ります。 出講可能曜日：相談次第 回数・日数：1回60分 場所：本学、相手校どちらでも可 対象：中学生・高校生 必要な機材：PCからの画面を出力するプロジェクター・音声が入る設備（特等可）、オンラインの場合は、生徒さんの表情と声がわかる設備	教育学部 子ども発達学科 丹羽 健太郎
	○	子どもの目・大人の目ー子ども界の不思議を楽しもうー	知らない子どもの行動には、大人から見ると「どうして？」と首をかしげられるものがあります。それが、子どもの可愛さでもあり、扱いの難しさでもあります。子ども界の不思議を楽しみ、子どもを大切にしたい皆さんへ。回数：1回60分 場所：本学・相手校どちらでも可 対象：中学生・高校生 PowerPoint資料が提示できる設備(プロジェクターなど)	教育学部 子ども発達学科 石橋 尚子
	○	自分を知らずにはじめようー自己理解の心理学入門ー	今の私は、どのような道を通って私になっただけでしょうか。発達心理学をベースに、これまでの自分づくりを振り返り、自己理解を深めよう。回数：1回60分 場所：本学・相手校どちらでも可 対象：中学生・高校生 PowerPoint資料が提示できる設備(プロジェクターなど)	教育学部 子ども発達学科 石橋 尚子
	○	保育の魅力ー保育士・幼稚園教諭・保育教諭の仕事ー	充実した仕事やワークライフバランスの向上にある保育職、保育職の仕事内容や保育のこころを通して、保育の魅力ややりがいを感じる瞬間を紹介します。子どもの遊びや絵本の読み聞かせなど体験してみよう。 出講可能曜日：相談の上調整 回数・日数：60分程度 場所：本学、相手校どちらでも可 対象：中学生・高校生 必要な機材：PCからの画面を出力するプロジェクターか大画面モニター	教育学部 子ども発達学科 清 葉子
	○	学校の先生の仕事って何？	生徒と違って親と同じく身近な存在の大人である学校の先生って、授業以外にもどんな仕事をしているのでしょうか。また、先生になるためにはどんなことができるのでしょうか。 出講可能曜日：水曜日 回数・日数：約1時間 対象：高校生 必要な機材：PCからの画面を出力するプロジェクターか大画面モニター	教育学部 子ども発達学科 深谷 和哉
	○	リアルに学ぶ先生のお仕事	「教員ってブラックと言われるけど、実際はどうなの」「授業以外にどんな仕事をしている」など、キャリア教育の一環として教師の仕事のリアルについて学びます。仕事への対処の仕方やストレス・マネジメントについても扱いますので、教員志望以外の方にも参考になります。	教育学部 子ども発達学科 森 和久
	○	高校生に知ってほしい特別支援教育	地域や学校には病弱、発達障害等の理由により「努力が足りない」「自分勝手なことをしている」等の誤解を受け苦しんでいる当事者の方々が多数存在します。そこで、これからの共生社会の実現に向けて、高校生の皆さんが知ってほしい当事者の事例をもとに具体的に解説し、皆さんで考える機会としたいと思います。 出講可能曜日：土曜日 回数・日数：約50分 場所：本学(相手校も可) 対象：高校生 必要な機材：PCからの画面を出力するテレビ画面等	教育学部 子ども発達学科 松村 晋
	○	幼児はあそびから何を学ぶのか	保育は、子どもが主体的に遊ぶなかで学ぶことができるように支援する仕事です。本講義ではクラスみんなで歌ったりダンスをしたりする活動の例に、「自分が子どもならどうしたい？」「自分が保育者なら何を教たい？」の視点で、子どもの遊びと保育者の指導の関係について考えます。そこから家庭・保育・地域・学校とのパートナーシップについても考えます。	教育学部 子ども発達学科 小杉 祐子
	○	日本の家族や生活スタイルから見てみよう	あなたが目撃したと思っている家族や社会の姿は、昔から同じなのでしょうか。意外な発見もあるかもしれません。客観的なデータを通して日本の家族や生活を見て、現代日本の問題点や解決法を考えてみましょう。 出講可能曜日：月曜日午後（趣による） 回数・日数：60-90分程度 対象：高校生 必要な機材：PCから出力できるプロジェクター 場所：家庭科での関連授業事項を事前に確認希望	教育学部 子ども発達学科 室 雅子
	○	主権者教育ワークショップ「農業ゲーム」を通して責任ある市民を育てよう	「投票していくのは市民としての権利であり義務でもある」と頭で分かっていても、なかなか行動に移せないのはなぜなのでしょう。社会的ジレンマを体験できるトランプゲームを通して、自分にとって、日本の未来にとって「責任ある市民になることの大切さ」が深く理解できるようになるワークショップです。 出講可能曜日：水曜日・木曜日 必要時間：90分 場所：どこでも 対象：小学生（高学年）ー一般まで 必要なもの：筆記用具	教育学部 子ども発達学科 山田 真紀

	○	教員費で優れた教員になるために：教員養成学部での学びの紹介	幼稚園・小学校・中学校・高等学校の先生の仕事とはどのようなものなのでしょうか。日本の「先生人口」は約120万人で、人口の1%（100人にひとり）が先生という計算になります。多くの人が関わっている先生という仕事は、もちろん大変なこともありますが、子ども達の成長と発達のお手伝いをする、やりがいのある素敵なお仕事でもあります。キャリア教育の一環として「先生の仕事とは？」「先生になるためにはどんな勉強をすればいいの？」という質問にお答えしていきます。 出講可能曜日：水曜日・木曜日 必要時間：90分 場所：どこでも 対象：小学生（高学年）～高校生 必要なもの：筆記用具	教育学部 子ども発達学科 山田 真紀
	○	音楽を遊ぶ	音楽が音楽表現しているのは、実はいろいろなことを私たちに教えてくれます。「やらされて」いない音楽活動をしている子どもたちは、音楽することを通じて音の仕組みを伝え、自分の見方を少し変えてみるワークショップです。 出講可能日：応相談 必要時間：60分 場所：ピアノかキーボードがある場所 対象：小学生～高校生 必要なもの：参加者は特に必要なし	教育学部 子ども発達学科 山中文
	○	乳幼児の音楽表現	乳幼児が音楽表現しているのは、実はいろいろなことを私たちに教えてくれます。「やらされて」いない音楽活動をしている子どもたちは、音楽することを通じて音の仕組みを伝え、自身の運動感を支え、コミュニケーションをとっています。そんな子どもたちの様子をのぞき、乳幼児期の音楽表現を見つめ直してみませんか？ 出講可能日：応相談 必要時間：60分 場所：どこでも 対象：高校生、保育者、幼稚園教諭 必要なもの：プロジェクト、音楽	教育学部 子ども発達学科 山中文
	○	音楽表現のおもしろさ 声ピアノのある教室を希望	「協和と合奏を奏する機会を通してはならない。たとえば、2人でデュエットや三重奏など。それは、音楽が一番好きなこと、楽しくということ、おそらく何よりも重要なスキルを授けられるか」とこれは作曲家シューマンの言葉です。私たちは作曲家や一緒に演奏する仲間と耳を傾けなくてはなりません。すべての音楽は、ピアノを1人で弾いてもアンサンブルで奏として扱うべきだと思います。合奏の各パートや、オーケストラの各楽器の両者の間にはいつも会話があって、それは音楽に不可欠な要素です。これらのことについて、ピアノ曲や楽譜を例に説明していきます。	教育学部 子ども発達学科 宮田 優雄
	○	図形の学習と算数の授業づくり～モザイクパズルの秘密を探ろう～	オランダの数学教育者であるVan Hieleは図形の学習に関する思考の水準論で知られています。Van Hieleは遊びの中で図形の思考を深める教材として「モザイクパズル」を紹介しており、本講義では、実際にモザイクパズルを探究する活動を通して、算数の授業づくりの視点や学ぶとともに、日本の図形カリキュラムにおける学習指導の系統性やVan Hieleの水準論の特徴について紹介します。 出講可能曜日：相談次第 回数・日数：1回60分 場所：本学、相手校どちらでも 対象：高校生、教員 必要・必要な教材：PCからの画面を出力するプロジェクトがあることが望ましい	教育学部 子ども発達学科 塩澤 友樹
	○	子どもの表現と育ち	子どもたちは、自分から音で絵を描いたり砂場や泥や土で形をつくって遊んでいます。その様子や作品を見るとき、子どもの心の中を覗いて見ることができず、何を伝えたいのだろう？何を考えているのだろう？どんな気持ちや感情なのだろう？と、子どもの世界を探ってみると不思議が一瞬です。表現をおして見える子どもの世界はとて素敵です。そんな世界を覗いてみましょう。 出講可能日：応相談 必要時間：60分 場所：どこでも可 対象：高校生、保育者、教員 必要なもの：プロジェクト	教育学部 子ども発達学科 福部 協司
	○	幼稚園の一日～先生って、何をやるの？～	幼稚園の先生はただ子どもと遊んでいるだけだと思われがちですが、実際にはいろいろなことを（前もって、あるいは臨時に）考えながら子どもと遊んでいます。幼稚園の先生はどのようなことを子どもと関わっているのでしょうか。幼稚園の教育で大切なことはなんなのでしょうか。子どもたちと関わることは楽しさと責任、保育の魅力について紹介します。	教育学部 子ども発達学科 磯村 正樹
	○	コミュニケーションのすれ違いはなぜ起きる？正義とアの二つの原理	嬉しい人との間で、考え方や価値観が違うためにトラブルになることは誰でもある。そうしたとき、どうすればいいか、何が正しいのかを決めるのが道徳的判断ですが、この判断のもとになる原理は大きく分けて二つあります。この二つの原理を知っておくと、自分や相手の考えを整理し、解決に向けてどう行動するのがいいか、方向性が見えてきます。モラル・ジェレンシーという教材を使って、二つの原理について学びましょう。	教育学部 子ども発達学科 伊藤 博英
	○	誰も知らない立方体、正四面体の秘密	誰も知っている立方体なのに、知られていない不思議な性質がいくつも隠れています。そのような性質をいくつか紹介します。例えば、側面対称、鋭角三角形分割、通り抜ける小さい立方体、多面体、ベリヤード軌道を通るブロックする多面体、重畳し等々です。	教育学部 子ども発達学科 伊藤 仁一
	○	多面体を裏返す～半乳パックで作るフレクサージュ～	半乳パックでフレクサージュという正方形が輪になっている種々の多面体で裏返すことが出来るパズルを作ります。その背景にある数学として裏返す多面体の多面体についての概念をします。	教育学部 子ども発達学科 伊藤 仁一
	○	映画を楽しみながら外国語コミュニケーション力をアップしよう	読みやすい平易な英語映画を見ながら、外国語のリスニング力を伸ばします。また役になりきってセリフを言うことを通じて、コミュニケーション力も高めます。内容は男女の役割についても考える部分を予定しています。 出講可能日：応相談 必要時間：60-80分 場所：どこでも 対象：高校生、保育者、幼稚園教諭 必要なもの：プロジェクト、音楽	教育学部 子ども発達学科 安達 理恵
	○	英語の絵本の読み聞かせをやってみよう	読みやすい英語絵本の絵本を読むことを通じて、外国語のリーディング力を伸ばします。また慣れたきたら他の人に読み聞かせの機会を通して、コミュニケーション力も高めます。内容は平和を尊ぶ絵本です。 出講可能日：応相談 必要時間：60-80分 場所：どこでも 対象：高校生、保育者、幼稚園教諭	教育学部 子ども発達学科 安達 理恵
	○	子どもの食生活と健康	子どもの「腹せ」と「肥満」を中心に現状と課題についてお話しし、健全な食生活の実践を支援します。 出講可能曜日：相談次第 回数・日数：1回60～90分 場所：本学、相手校どちらでも 対象：小学校高学年～高校生、保護者 必要・必要な教材：PCからの画面を出力するプロジェクト	教育学部 子ども発達学科 中島 正夫
	○	協同学習の理論と実践	協同学習の具体的な方法やワークを通して実践的に学んでいただきます。いわゆる「アクティブラーニング」を実現するためのグループワークの方法にはどのようなものがあるか、また、その方法にはどのような理論的基礎があるか、グループワークの実践に基づいて学んでいただきます。例えば「知識構成型ジグソー法」などを扱います。 集団協働法の学習を必要とする看護実習指導者向けの研修としても活用できる内容となっています。	教育学部 子ども発達学科 吉市 麻樹
	○	健康を科学しよう	健康のメカニズムを知っていただき、ご自分の健康状態を確認できることを目指しています。また、試験前の講座やスポーツマンに多い関節痛のケアの方法についても学びましょう。	看護学部 看護学科 高橋 幸子
	○	「食べ」の不思議	消化吸収のメカニズムを知っていただくとともに、人間の生活にとっての食文化の重要性について考えていただきます。ご自身の食生活が心身や社会的な発達にとって良い状態かどうかを確認できることを目指しています。	看護学部 看護学科 高橋 幸子
	○	ストレスとその対処を考えよう	日々の生活の中で、私たちはさまざまなストレスを体験しています。適切なストレスに対して適切な対処することは、心身の健康につながります。心身の健康・不健康とストレスへのコーピング方法について学び、自分自身のストレスコーピングについて考えてみましょう。	看護学部 看護学科 林 和枝
	○	社会保険「介護保険」を知る	介護保険とは、社会制度で介護を支える仕組みです。40歳以上を対象に要介護状態になったときに介護サービスを受けられる制度のことです。社会保険の中の最も新しい「介護保険」を知り、ご家族や地域の方々に自分が何ができるかを考えてみます。さらに、介護保険制度とつながりの深い、地域包括ケアシステムを紹介します。 必要・必要な教材：プロジェクト、スクリーン、Wi-Fi環境 受講生：スマホ、タブレット等の端末	看護学部 看護学科 福田 由紀子
	○	がんと遺伝に関して	日本人2人に1人ががんになる時代になりましたが、適切な予防や治療を行うことでがんを共存することが当たり前になりました。実はがんの中で最も怖いがんは全体の約10%を占めているといわれています。それはがんに関する特定の遺伝子の変化が世代を超えて伝わることで原因です。一部の遺伝子でそのような遺伝子の変化（変異）を検査で予め見出すことで、自分が将来がんになる可能性があるかどうかを調べることでできるようになっています。これは、がんの治療を手遅くしないためにも、大変大切な診断手段です。しかし、将来自分ががんを発症するということを予め知ることは、様々な困難を伴います。変化を持っているということがわかった場合には本人だけでなく、兄弟姉妹、自分の子ども、孫にまで影響が及ぶと、つまり、自分がたその変化はとどまらず、血縁者と共有する可能性があります。遺伝するがんをあらかじめ診断する意義、そして医療者や患者さんが直面する課題と一緒に学び、共有したいと思います。	看護学部 看護学科 福田 誠司
	○	自分と大切な人を守るために知っておきたいこと	自分の責任感から、自分の命が第一で大切にされるべき存在であることを確認します。そして、命をつなぐ仕組みが整った心身の成長を理論として、行動を自分で決定し、自分自身と大切な人を守る方法について一緒に考えます。	看護学部 看護学科 中嶋 文子
	○	大切な人との関係を育むために知っておきたいこと	人間性とは何か？を身体的側面、心理社会的側面から考え、性や人の生き方やその人らしさの土台となることを理解します。その上で、自分を大切にしながら相手との関係を築くためのヒントを一緒に考えます。	看護学部 看護学科 中嶋 文子
	○	からだの隅を使ったレクリエーション	手先動かしたり、頭を使うことは健康にも良いとされています。どんなに元気なでもレクリエーションをご紹介します。 時間：1回60～90分 対象：高校生や一般市民の方 必要・必要な教材：可能であればプロジェクトやスクリーン	看護学部 看護学科 池保 志帆
	○	ストレスとリラクゼーション	健康で元気に生活する上で、ストレスへの対処方法やリラクゼーションする方法を知っておくことは大切になってきます。講義内で、リラクゼーションする方法をいくつかご紹介し、体験したい方います。自分に合ったリラクゼーションする方法を見つけよう。 時間：1回60～90分 対象：高校生や一般市民の方 必要・必要な教材：可能であればプロジェクトやスクリーン	看護学部 看護学科 池保 志帆
	○	いろいろな看護職～「保健師」を知っていますか？～	同じ看護職でありながら、「看護師」や「助産師」に比べてどんな仕事をしているかあまり知られていない「保健師」。新型コロナウイルス感染症のニュースで初めて聞いたという方もおられるかもしれませんが、性別や年代、健康状態にかかわらず、地域で暮らす人々のことと体の健康を支える保健師についてご紹介します。 出講可能日：相談次第 必要・必要な教材：プロジェクトやスクリーン	看護学部 看護学科 大塚 敏子
	○	女性にとって大切な食事摂取と体重の管理	自分自身の「良き」を十分に認識できること、そしてその「強み」を日常の中で自分らしく活用できることは、イキキとした充実につながります。この講義では、ホジテブ心理学の観点から、「強み」と「well-being」を中心に解説します。また自分自身の「強み」を発見するワークショップを提供します。 出講可能曜日：土曜日（平日も本講義の講義と重複しなければ可能） 回数・日数：2時間（1時間を2回でも可） 場所：本学（相手校も可） 対象：小中高生 一般も可 必要・必要な教材：PCからの画面を出力するプロジェクト、スクリーン	看護学部 看護学科 早川 幸博
	○	看護師の「手」と「こころ」で行う技術	辛いとき、悲しいとき、言葉でなくそれ以外の方法で助けられる経験はないでしょうか。不安や緊張を感じたとき、手をさすったり、胸をさすったり、心を落ち着かせる行為を自然とする。自分自身の手に手を当て、なでたりさすったり皮膚を手で刺激する。手の原点は、人が自然に行っていること、手をつかって体を回復させようとする行為です。看護師は、人が自然に自分に対して他者に対して行ってきた手を使った看護師の手で行う仕事、それは体の一部だけでなく、その人のこころをも手当てすることになります。これらの仕組みについて紹介します。	看護学部 看護学科 前田 節子
	○	看護援助時からの使い方（無理・無駄・ムラのない動作）	看護師の仕事は、「重労働」というイメージはありませんか？私たちが援助する人達の心の中には、自分で動くことができない、あるいは人の手助けが必要なものもたくさんあります。助けたい人をかかえたり、同じ姿勢での作業が多かったり、疲労や疲労がたまりすぎると、とくに腰痛などは看護師の職業病ともなっています。そこで自分自身からだと、援助される側の安心と安全を守るためのからの使い方について紹介します。実際に少しだけ体験学習も計画します。	看護学部 看護学科 前田 節子
	○	「強み」の発見とその活用～ホジテブ心理学から考える自己肯定～	他人の話を聞くこと（聴くこと）は、日常の当たり前の行動ですが、聴くものですね。この講義では、臨床心理学の視点から、他者の話を「聞く」コツについてお伝えします。講義に加えて、実際に役割演技（ロールプレイ）によって聴き方を練習します。つまり「聴ける」ようになることとあなたの周囲との「関係性」も変わるかも、、、 出講可能曜日：土曜日（平日も本講義の講義と重複しなければ可能） 回数・日数：2時間（1時間を2回でも可） 場所：本学（相手校も可） 対象：小中高生 一般も可 必要・必要な教材：PCからの画面を出力するプロジェクト、スクリーン	看護学部 看護学科 川島 一晃
	○	上手な話し方と関係性～臨床心理学から関係性のコツを学ぼう～	他人の話を聞くこと（聴くこと）は、日常の当たり前の行動ですが、聴くものですね。この講義では、臨床心理学の視点から、他者の話を「聞く」コツについてお伝えします。講義に加えて、実際に役割演技（ロールプレイ）によって聴き方を練習します。つまり「聴ける」ようになることとあなたの周囲との「関係性」も変わるかも、、、 出講可能曜日：土曜日（平日も本講義の講義と重複しなければ可能） 回数・日数：2時間（1時間を2回でも可） 場所：本学（相手校も可） 対象：小中高生 一般も可 必要・必要な教材：PCからの画面を出力するプロジェクト、スクリーン	看護学部 看護学科 川島 一晃

	○	糖尿病の話	糖尿病とは何か、血糖値が高いとどうなるのかなど、糖尿病に関する理解を深めることによって、生活習慣の大切さについて考えていきます。 可能曜日：相談次第 回数・日数：1回40～90分 場所：相手校 対象：中学生・高校生 必要な機材：PCからの画面を出力するプロジェクター、スクリーン使用環境が整っている方が望ましい	看護学部 看護学科 生田 美智子
	○	人間をみる (人間看護) ～ナインゲールに焦点をあてて～	「病室」だけを見ていた看護士と、「病室をみる」という視点から看護士と患者との関係性について、看護の質が変わる可能性があります。終末期を迎えた患者さんと、その受け入れられない家族の双方に寄り添い、配慮を尽くした看護士がいます。その看護士によって、患者さんは満足し、遺族は前を向いて歩むことができます。もちろん、看護士にはなぜその症状が出るのかといったエビデンス (根拠) や治療をサポートする看護の知識は不可欠ですが、その上で患者さんに寄り添う能力が大切です。今は、そうしたスキルをもつ看護士が、より一層必要となってくることを看護の姿とともに解説します。 出講可能曜日：いつでも 回数・日数：45～90分 場所：本学、相手校どちらでも 対象：高校生～ 一般市民 必要な機材：プロジェクター	看護学部 看護学科 杉浦 美佐子
	○	災害時に自分で自分の身を守るために	災害発生時、まずは自分の身を自分で守ることが一番重要です。次に、自分の安全を確保した人たちの助け合いが大きな力になります。これまでの災害においても、最も多くの人命を救ったのは、地域の人たちの助け合いでした。そのときのために、自分で行える備え、行動を把握しておきたいものです。「自衛」は、自分の命を自分で守るということ、「共助」は、自分たちの地域は自分たちで守るということ、「公助」は、国・県・市町村などの行政が主体となって、災害に強い「まち」をつくることです。災害からの被害を最小限に抑えるために、災害が起きる前の普段からの考えの下、みんなで防災活動に取り組むことについて解説します。 出講可能曜日：いつでも 回数・日数：45～90分 場所：本学、相手校どちらでも 対象：高校生～ 一般市民 必要な機材：プロジェクター	看護学部 看護学科 杉浦 美佐子
	○	身近な人が「うつ」になったら	色々な悩みやストレスを抱えてうつ病になってしまう人は増えています。うつ病は誰れもがかり得る病気です。あなたのこころは健康ですか？友達や家族など身近な人がうつ病になったら、どのように接したらよいでしょうか？自分自身のこころの健康の保ち方やうつ病の人のかわり方について、一緒に考えましょう。	看護学部 看護学科 小林 純子
	○	老いについて考える	老いとは何か、老いとはどうなるのかなど、老いに関する理解を深めることによって、高齢者や超高齢社会の特徴について考えていきます。 可能曜日：相談次第 回数・日数：1回40～90分 場所：相手校 対象：中学生・高校生 必要な機材：プロジェクター使用環境が整っている方が望ましい	看護学部 看護学科 小松 美紗
	○	バイスタンダー (Bystander) ができること ～命を守る緊急処置～	日本においては、年間約10万人 (1日約270人) が突然死により死亡しているとされています。学校においても、年間50件程度の突然死があり、突然死の中で、心臓が要因となり死亡している割合が約70%と高い割合を示していることは変化がありません。突然、あなたの大事な家族、友人に心臓が止まってしまう状況となつたとどのように対応することが、大切なこととなるのかを、高校の生物の知識と合わせて理解を深めたいと思います。	看護学部 看護学科 佐原 弘子
	○	生体組織とセルフケア	女性のほぼ3分の2が月経前に気分変動や不安などの症状を経験しており、このことが「世界的に重要な公衆衛生上の問題」となっているとする研究結果が報告されています。さらに重要なことは、多くの女性が月経前の症状により日常生活が妨げられていると訴えていることです。「月経」は女性の身体に起こる現象ですが、こうした問題について、女性だけでなく男性にも知ってもらおうことが大切だと考えています。 女性が初潮を迎えてから閉経するまでの期間は、平均で35～40年間。毎月5日間は月経の期間だとすると、生涯で約6年9ヶ月は、月経と付き合っていくことになります。月経中でも快適に、イキイキ過ごすために、私たちの暮らしに大きな影響を与えている月経のしくみについて授業を通して、高校生の皆さんと理解を深めたいと思っています。	看護学部 看護学科 奥川 ゆかり
	○	日本の父親育休は世界一？	2022年からは子供の誕生から8週間以内には専任期間の休業を育児休業とは別に取得できるようにもなっています。ユニファは、日本の育児休業制度について「男性向けの育児休業の充実度」ということで、日本の育児休業は世界一と格付けしています。休職可能期間は一位ですが、日本の男性の多くは育児休業を取得できていない現状はご存じでしょうか。性別と年収で見てくる日本の育児休業の現状について、日本の企業とそれまでの育児休業の取得の経緯を一つ一つ追跡し、男性の育児休業についてともに考えたいと思います。	看護学部 看護学科 奥川 ゆかり
	○	その人らしい職種を認めるために看護士ができること	日本は高齢多死社会になっており、自分の職種をどのように認めるのか、一人一人が考え、その意思表明をすることが大切になってきました。生きることに死ぬこととは何か、そして自分らしい職種を認めるためにどうすればよいかを一緒に考えていきたいと思います。	看護学部 看護学科 宇佐美 久枝
	○	日常に活かす看護のコミュニケーション	看護に求められる看護実践能力の中で、コミュニケーション能力がよりクローズアップされています。なぜならば、看護を実践するには対象とのインタラクティブなコミュニケーションを通じて、情報収集を行い、人間関係を構築することが求められるからです。特に看護の対象となる方々には、入院生活を余儀なくされている方も多く、そのような非日常の中でのコミュニケーションには、コミュニケーション技術が必要となります。とくにコミュニケーションという、話す力をイメーজされる方が多くいます。また、日常のコミュニケーションで困らぬから、コミュニケーション能力が高いと捉えている方もいます。果たしてそうなのでしょうか。看護実践で求められるコミュニケーション技術を学ぶことにより、日常生活での人間関係も豊かになります。	看護学部 看護学科 井野 恭子
	○	住み慣れた自宅や地域で最後までどのように生きていきたいですか？	「介護保険」制度について知り、ご家族や地域の方々に自分は何ができるかを考えます。さらに、住み慣れた自宅や地域で最後までどのように生きていきたいかなどを考えてみる機会です。自分のことだけでなく、家族のことも含めて考えてみましょう。	看護学部 看護学科 又吉先生
	○	子どもが育つために必要なこと	子どもは、家族の中に生まれ、家族で育てられ、成長発達する存在です。子どもの成長発達ひとつひとつに注目してみると、どれ一つとっても、一人で勝手に育つものはないことに気づかれます。受講者の皆さんの今の成長発達、周囲の誰かとの相互作用によって獲得したものであること、周囲の誰かとの絶え間ない「かわわり」があって初めて成り立っていることを知ること、自分や周囲の人に対して、少しでも興味と愛着が持てるようになれば嬉しいです。	看護学部 看護学科 安本先生
	○	病状のしくみを知らう	自分や家族の健康を維持・守るために薬物・手術する病状について、病状の病態機序、薬物にかかるとどうなるか、入院生活に関することなどを知っていただきたいと思えます。	看護学部 看護学科 吉西先生
	○	災害時の原動機について知っておこう	災害時には多くの被害が発生しますが、どのようにして被害が与えられるのか、自分たちができることは何かを知っていただくことを目指しています。	看護学部 看護学科 吉西先生
	○	大腸の病気と看護	大腸の病気の病気が多くあるが、特に大腸がんを患う方は、2019年日本の全癌性腫瘍の中で第1位である。さらに、2021年日本の大腸がんの死亡数は、男性で第2位、女性で第1位であることから、身近な病気である。そのような大腸の病気を患った方々の看護について、一緒に考えていきたいと思います。 可能曜日：相談次第 回数・日数：1回45～90分 場所：相手校 対象：中学生・高校生 必要な機材：PCからの画面を出力するプロジェクター、スクリーン	看護学部 看護学科 竹井先生
	○	スマートフォンを上手に使って健康生活！	わが国でスマートフォンの普及が始まったのは2010年ごろだとされています。その後普及率はどんどんと高まり、2023年の全国調査では、高校生の約97%、ほぼ全員がスマートフォンを所持している状況です。また、一人の高校生が使っている時間も同様に毎年増え、ここ数年は急増しており2023年は日平均345分です。つまり6時間近くスマートフォンにまわっていることになります。スマートフォンは現代生活に欠かせない便利なデジタル機器ですが、一方で健康への影響も心配されています。特に高校生は身体が育まれる大切な時期です。そのため、スマートフォンによる健康への影響を知り、上手に使っていく術を皆さん、一緒に考えてみませんか？ 時間：1時間～1時間30分	看護学部 看護学科 肥田先生